

平成28年度

京丹後市の教育



中学生海外派遣事業 ニューゼーランド ニューブリマス市

京丹後市教育委員会

「平成28年度版京丹後市の教育」発刊のことば

平成27年3月、京丹後市教育振興計画を策定し、今後10年間の京丹後市が目指す教育として「心豊かにたくましく 幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち 新しい価値を創りだす力を育む教育」を定めました。平成28年度の教育行政は、この「目指す教育」にむけての2年目として、精力的に取り組んでまいりました。

京丹後市の最も大きな教育振興策であります小中一貫教育では、導入研究校及び導入準備校による実践研究を経て、平成28年度から全市域で本格的にスタートしました。また、市が目指す子ども像を「将来に夢と希望をもって生き生きと学ぶことのできる児童生徒」として6つの学園が共有するとともに、各学園が特色を生かした一貫性・系統性のある教育活動に取り組みました。

子育て支援策では、大宮北保育所とこうりゅう保育所の公設民営化によるサービスの向上や、待機児童ゼロの継続、第2次京丹後市保育所再編等推進計画の策定などを行いました。また、放課後子ども教室を新たに2箇所を開始し、10箇所の放課後児童クラブと共に、子どもの放課後の居場所作りに取り組みました。

学校教育関係では、平成28年4月、吉原小学校と五箇小学校の再配置による「いさなご小學校」が開校するとともに、新山小・丹波小学校づくり準備協議会による協議を経て、平成30年4月のしんざん小学校開設に向けた準備を進めました。また、学校施設の整備では、体育館やランチルームの大規模空間の安全性を確保するため、天井材や照明器具の非構造部材の落下防止工事を行うとともに、学習環境の向上を図るため、小学校の普通教室等の空調化工事に着手し、平成28年度は大宮南、弥栄、高龍、かぶと山小学校で実施しました。

社会教育関係では、学校支援地域本部事業として、地域総ぐるみで学校を支える学校支援ボランティアが、新たに36人の新規登録者を得て、546人にまで拡大し、学校で行う授業や行事などを支えていただきました。また、社会体育事業では、京丹後市スポーツ推進計画策定に向けて、市民アンケート調査を実施しました。

文化財保護関係では、網野銚子山古墳の整備に向けた発掘地形測量を実施しました。また、京丹後市史資料編『京丹後市のまちなみ・建築』を発刊し、これにより平成17年度から実施してきました京丹後市史編さん事業は、本文編2冊、資料編12冊の14冊を刊行し事業が完了しました。

本誌「京丹後市の教育」（教育要覧）の発行は今回で13年目となります。教育委員会活動を紹介する資料として、引き続き内容の一層の充実に努めてまいりたいと思いますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

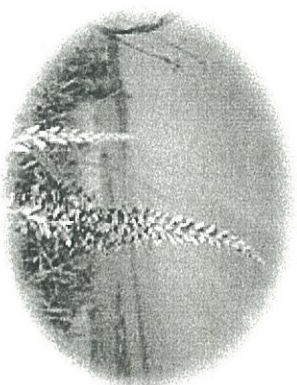
平成29年9月

京丹後市教育委員会教育長 吉岡 喜代和

市の花「トウテイラン」

トウテイランは、8月から9月にかけて多数の青紫色の花を開く多年草であり、山陰海岸の砂丘に見られ、箱石砂丘の群落は「京都の自然 200 選」にも選定されています。

盛夏から秋にかけて、中国の洞庭湖（どうていこ）の湖水のように美しく神秘的な色の花を咲かせるトウテイランは、日本固有種で外国には自生しておらず、また、日本国内でも数か所にしか自生していない非常に貴重な花です。



市の木「ブナ」

ブナは、温帯林を代表する落葉広葉樹であり、雪にもめげず、春には他の落葉樹に先がけて芽吹きを始めます。

京丹後市には、山から里、そして海が1つの市の中で連続しているという特徴があり、森で育まれた栄養分が川から水田へ流れておいしいお米を育て、最後には海へ流れて、貝や魚等の生き物を育んでいます。



温暖化や森林破壊、人口爆発等、地球規模での課題に直面している今、気候を安定させ、多様な生き物を育み、「緑のダム」として水や食料を私達に与えてくれるブナ林は、まさに京丹後市の自然豊かな環境のシンボルと言えます。

市の歌について

未来を担う子どもたちが、ふるさとに対して興味や関心を持ちふるさとを誇りに思うことができる歌をめざし、市民の皆様にも永く歌い継がれる歌、京丹後市に夢を持ち、活き活きと歌い継いでいける歌、そして希望を持ち、将来に向かい明るい展望が持てる歌となるように京丹後市の魅力をもりこんだ歌です。（作詞：梅田俊作 作曲：藤原哲也）



京丹後市歌

詞 梅田 俊作

一、 海青く 緑の羊鳥 風よぶ
わびりくる 香静のなかに いまだかいて
樹く夢 色鮮やかに いっまでも
ふるさと色は 雲の原色

三、 さんさんと 天(そら)に子牛線 時が流く
世代越え 伝え守る 手から手に
ちのつくり ものがたり 歪手箱
はるか未来へ 雲に預け物

二、 薄雲の 雲間に光る 海岸は
はるかなる 絹の道と 波つづき
香静風(うらに)に ぬかるる大地 踏みがたて
歩いていこう 夢が道(みち)

四、 いにしえの 歴史がたどる 丹後路は
新しき 五国へや つづく道 羅針盤
手をつなごう かなの思いが 明月へ
ただれたすらに 京、丹後の

目 次

教育行財政

1	教育委員会委員、教育委員会組織体制図	1
2	教育委員会事務局事務分掌表	2
3	教育委員会の開催状況	6
4	教育費予算の概要	10
5	教育振興計画進捗管理表	12
6	主要な決算の概要	16

子育て支援

1	幼稚園・保育所施設・認定こども園 運営内容	24
2	各こども園・幼稚園の教育内容、各保育所の保育の理念・保育の目標	25
3	放課後児童クラブ登録児童数	38

学校教育

1	児童生徒数及び学級数の推移	39
2	学校施設一覧	42
3	施設整備計画、学校施設改修事業	44
4	学校通学区、スクールバス運行	45
5	奨学金	47
6	学校再配置	49
7	小中一貫教育	52
8	学校保健	54
9	学校給食	60
10	就学援助	63
11	教育指導	64
12	学校安全	72
13	不登校対策	75
14	研究等指定校	76
15	学校情報化推進	77
16	国際交流	80

社会教育

- 1 社会教育事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
- 2 京丹後市公民館組織体制・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
- 3 京丹後市公民館連絡協議会事業・・・・・・・・・・ 90
- 4 各地域公民館事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 92
- 5 社会教育施設事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 116
- 6 社会体育事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119
- 7 社会体育施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 132
- 8 図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 134

文化財

- 1 文化財保護事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 143
- 2 文化財保護関係施設・・・・・・・・・・・・・・・・ 150
- 3 指定文化財・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 152

各種委員名簿

- 1 各種委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 153

教育行政財政

1 教育委員会委員

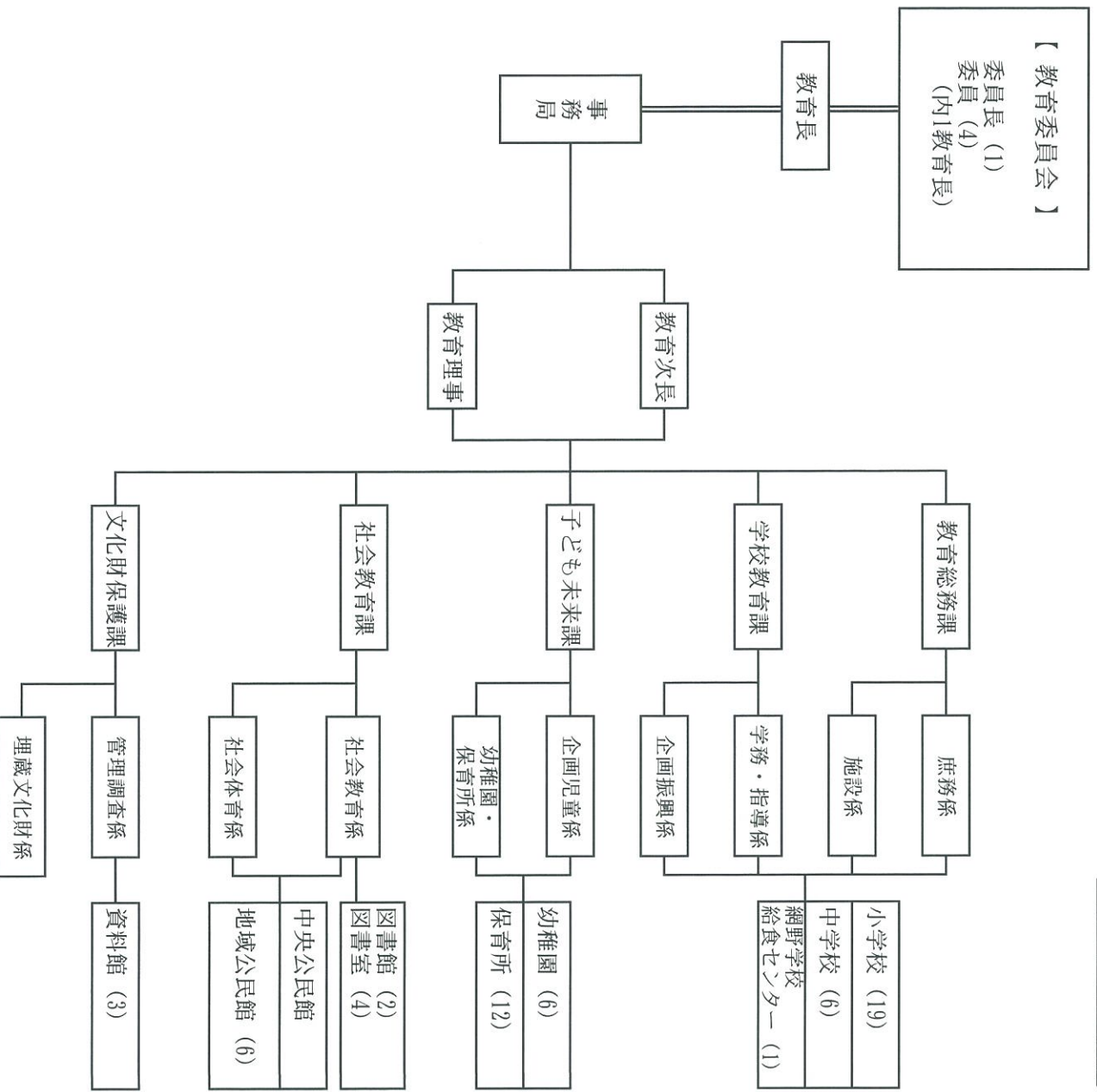
【平成28年7月7日まで】

【平成28年7月8日から】

委員	長	小松慶三	教育長	吉岡喜代和
委員長職務代理者		文珠清道	教育長職務代理者	野木三司
委員	員	森益美	委員	森益美
委員	員	野木三司	委員	久下多賀子
教育長		米田敦弘	委員	田村浩章

教育委員会組織体制図

平成28年4月11日現在



2 教育委員会事務局事務分掌表

教育総務課

ア 庶務係

- (ア) 教育振興基本計画に関すること。
- (イ) 教育委員会の会議に関すること。
- (ウ) 学校の設置、廃止等に関すること。
- (エ) 規則等の制定及び改廃に関すること。
- (オ) 職員の任免、進退、賞罰、服務及び身分に関すること。
- (カ) 職員の給与及び福利厚生に関すること。
- (キ) 職員の公務災害に関すること。
- (ク) 非常勤職員の任用に関すること。
- (ケ) 京丹後市立学校勤務府費負担教職員安全衛生委員会に関すること。
- (コ) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- (サ) 公印の管理に関すること。
- (シ) 文書の收受及び発送に関すること。
- (ス) 教育費の予算編成及び決算に関すること。
- (セ) 奨学金に関すること。
- (ソ) 公用車の運行管理に関すること。
- (タ) 広報に関すること。
- (チ) 叙勲及び表彰に関すること。
- (ツ) 寄附採納に関すること。
- (テ) 外国語指導助手に関すること。
- (ト) 教育委員会の庶務に関すること。
- (ナ) (ア)から(ト)までに掲げるもののほか、他の課に属さないこと。

イ 施設係

- (ア) 学校施設の基本計画及び実施計画に関すること。
- (イ) 学校施設の維持管理に関すること。
- (ウ) 学校施設の防災に関すること。
- (エ) 学校施設の国庫負担金(補助金)に関すること。
- (オ) 学校施設の施設台帳及び財産台帳に関すること。
- (カ) 学校跡施設の維持管理、利活用に関すること。
- (キ) (ア)から(カ)までに掲げるもののほか、教育施設に関すること。

学校教育課

ア 企画振興係

- (ア) 学校規模の適正化等の調査及び検討に関すること。
- (イ) 学校再配置に関すること。
- (ウ) 学校教育改革構想に関すること。
- (エ) 教科書の採択に関すること。
- (オ) 通学区域に関すること。
- (カ) 学校評議員に関すること。
- (キ) 学級編成に関すること。
- (ク) 児童生徒数の推計に関すること。
- (ケ) 指導主事の服務に関すること。
- (コ) 教育相談の総括に関すること。
- (サ) 教育支援センターに関すること。
- (シ) 学校教育の情報発信に関すること。
- (ス) スクールバスの運行管理に関すること。
- (セ) 児童生徒の国際交流に関すること。
- (ソ) (ア)から(セ)までに掲げるもののほか、企画振興に関すること。

イ 学務・指導係

- (ア) 就学に関すること。
- (イ) 学齢簿に関すること。
- (ウ) 教科書の無償給与に関すること。
- (エ) 学校保健、学校安全に関すること。
- (オ) 小中一貫教育の実践に関すること。
- (カ) 教育のまちづくりの推進に関すること。
- (キ) 学校給食、食育に関すること。
- (ク) 学校経営、教育活動及び教育課程の指導助言に関すること。
- (ケ) 研究指定校に関すること。
- (コ) 教職員及び講師の任免並びに内申に関すること。
- (サ) 教職員の免許更新及び研修に関すること。
- (シ) 教職員の服務、公務災害及び給与事務に関すること。
- (ス) 学校の管理運営予算及び教育振興予算の執行に関すること。
- (セ) スクールサポーターの任用に関すること。
- (ソ) (ア)から(セ)に掲げるもののほか、学務・指導及び学事に関すること。

子ども未来課

ア 企画児童係

- (ア) 次世代育成支援対策行動計画の策定及び進行管理に関する事。
- (イ) 子ども未来まちづくり審議会に関する事。
- (ウ) 少子化対策、子育て支援の企画及び調整に関する事。
- (エ) 要保護児童対策地域協議会に関する事。
- (オ) 家庭子ども相談室に関する事。
- (カ) 放課後児童健全育成事業に関する事。
- (キ) フアミリー・サポート・センターに関する事。

イ 幼稚園・保育所係

- (ア) 幼稚園及び保育所の設置、廃止等に関する事。
- (イ) 就園及び保育の実施に関する事。
- (ウ) 幼稚園の教育課程及び保育所の保育計画に関する事。
- (エ) 保育費用等の徴収に関する事。
- (オ) 入園・入所児童の健康安全に関する事。
- (カ) 私立保育所及び無認可保育所に関する事。
- (キ) 幼稚園の預かり保育事業に関する事。
- (ク) 保育所の一時預かり事業に関する事。
- (ケ) 子育て短期支援事業に関する事。
- (コ) 子育て支援センターの運営に関する事。
- (サ) 子育てサポートセンターの運営に関する事。

社会教育課

ア 社会教育係

- (ア) 社会教育委員会議に関する事。
- (イ) 社会教育計画の立案に関する事。
- (ウ) 公民館に関する事。
- (エ) 図書館に関する事。
- (オ) 社会教育施設の整備及び維持管理に関する事。
- (カ) 社会教育事業に関する事。
- (キ) 社会教育関係団体に関する事。
- (ク) (ア)から(キ)までに掲げるもののほか、社会教育に関する事。

イ 社会体育係

- (ア) スポーツ推進審議会に関する事。
- (イ) 文化、スポーツ及びレクリエーションの振興に関する事。
- (ウ) 体育施設の整備及び維持管理に関する事。

- (エ) 社会体育関係団体に関すること。
- (オ) (ア)から(エ)までに掲げるもののほか、社会体育に関すること。

文化財保護課

ア 管理調査係

- (ア) 文化財保護審議会に関すること。
- (イ) 文化財保護団体に関すること。
- (ウ) 資料館、文化館等文化財関係施設に関すること。
- (エ) 文化財の普及啓発に関すること。
- (オ) 文化財補助金に関すること。
- (カ) 収蔵資料の管理に関すること。
- (キ) 市史編さんに関すること。
- (ク) 文化財の調査及び研究、収集並びに保存に関すること。
- (ケ) 文化財情報提供及び指導助言に関すること。
- (コ) (ア)から(ケ)までに掲げるもののほか、文化財の管理調査に関すること。

イ 埋蔵文化財係

- (ア) 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (イ) 史跡の整備に関すること。
- (ウ) その他埋蔵文化財に関すること。

3 教育委員会の開催状況(平成28年4月～平成29年3月)

開催日	議案番号	議 案 件 名
	40	社会教育主事の任命について
	41	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
	42	京丹後市立学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱について
	43	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について
28. 4. 1	44	京丹後市奨学金条例施行規則の一部を改正する規則の全部改正について
	45	京丹後市教育委員会職員補職名規則の一部改正について
	46	京丹後市立小中学校修学旅行引率補助金交付要綱の一部改正について
	47	京丹後市立学校評議員の委嘱について
	48	京丹後市立幼稚園・保育所内科医、歯科医及び薬剤師の委嘱について
	49	京丹後市社会教育委員の委嘱について
	50	京丹後市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
	51	京丹後市図書館協議会委員の任命について
28. 5. 2	52	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について
	53	公益社団法人日本青年会議所近畿地区京都ブロック協議会 第44回京都ブロック大会京丹後大会の開催に係る後援について
	54	「京都真琴会大正コンサート あなたと共に～」の開催に係る後援について
	報告1号	今後の京丹後市立図書館のあり方について(諮問)
	55	京丹後市立幼稚園保育料徴収条例及び京丹後市立保育所保育料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
	56	京丹後市学校給食献立作成委員会設置要綱の一部改正について
	57	第71回(第72回冬季)国民体育大会近畿ブロック大会の開催に係る共催について
28. 5. 31	58	「第3回サンセットビーチランin京丹後」の開催に係る後援について
	59	「ビーチスポーツフェスティバルin京丹後」の開催に係る後援について
	60	京丹後市立学校薬剤師の解嘱及び委嘱について
	報告2号	京丹後市学校給食献立作成委員会委員の委嘱について
	報告3号	京丹後市就学指導委員会委員の委嘱について
28. 6. 3	61	京丹後市教育委員会委員の辞職の同意について
		委員長職務代理者の選挙について
28. 6. 20	62	京丹後市立資料館長の辞職の同意について
	63	京丹後市立資料館長の委嘱について

開催日	議案番号	議 案 件 名
28. 6. 30	64	京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について
	65	京丹後市外国語指導助手の服務等に関する規則を廃止する規則の制定について
	66	京丹後市放課後子ども教室推進事業実施要綱の制定について
	67	平成28年度京都府無形民俗文化財伝承・活用等事業「野中の田楽」一映像鑑賞とお話を聞く会への開催に係る共催について
	68	「たんたん能in丹後」および「楽しくわかる能楽講座」の開催に係る共催について
28. 7. 8	69	「ふれあいの集い」の開催に係る後援について
	70	第8回平野杯少年少女学童野球大会の開催に係る後援について
	71	平成28年度京都府中学校教育研究会体育実技研修会兼体力向上指導者研修会の開催に係る後援について
	72	「Art Camp Tango 2016」の開催に係る後援について
	73	第8回丹後リズム新体操クラブ演技発表会の開催に係る後援について
	報告4号	京丹後市小中一貫教育研究推進協議会委員の解嘱及び委嘱について
	74	京丹後市学校再配置基本計画の見直しについて
28. 8. 3	75	京丹後市学校再配置基本計画実施方針の見直しについて
	報告5号	京丹後市教育振興計画進捗管理について
	報告6号	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について
	76	平成29年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について
28. 8. 17	77	平成29年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について
	78	平成28年度全国学力・学習状況調査の調査結果の取扱いについて
	79	京丹後市いじめ防止対策等専門委員会委員の委嘱について
	80	京丹後市史跡整備検討委員の解嘱及び委嘱について
28. 9. 5	81	第24回高龍寺ヶ岳登山まつりの開催に係る後援について
	報告7号	教育委員会事務局職員の処分について
	82	京丹後市立学校評議員の解嘱について
	83	京丹後市立学校勤務府費負担教職員等ストレスチェック実施規程の制定について
28. 10. 4	84	「防災講演会『大震災自閉っこ家族のサバイバル』～あの時何があったのか～家族一地域一絆」の開催に係る後援について
	85	オカリナそよ風コンサートの開催に係る後援について
	86	平成28年度京丹後市文化協会サークル体験講座の開催に係る後援について
28. 11. 1	87	京丹後市立幼稚園保育料徴収条例及び京丹後市立保育所保育料徴収条例の一部改正について

開催日	議案番号	議 案 件 名
28.11.17	88	京丹後市立保育所条例の一部改正について
	89	財産の無償譲渡について（こうりゅう保育所）
28.12.2	90	行政財産の用途廃止について
	91	百人一首大会の開催に係る後援について
28.12.14	92	平成27年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について
29.1.4	1	京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）成果報告会の開催に係る後援について
	2	宇宙飛行士 山崎直子 講演会の開催に係る後援について
	3	平成29年度「指導の重点」について
	4	平成29年度全国学力・学習状況調査の実施について
29.2.1	5	第2次京丹後市保育所再編等推進計画の策定について
	6	京丹後市社会体育施設条例の一部改正について
	7	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について
	8	京丹後市丹後自然体験学習施設条例の廃止について
29.2.9	9	平成29年度教育委員会関係予算について
	10	京丹後市スポーツ推進計画に係る諮問について
29.2.22	11	京丹後市立学校ハラスメント防止要綱の一部改正について
	12	平成29年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について
	13	京丹後市社会教育指導員の解嘱について
	14	京丹後市スポーツ推進委員の解嘱及び委嘱について
29.3.2	15	京丹後市教育委員会における障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領の制定について
	16	京丹後市一時預かり事業実施要綱の一部改正について
	17	京丹後市子育て支援センター事業実施要綱の一部改正について
	18	京丹後市社会教育指導員の委嘱について
29.3.10	19	平成29年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について
	20	京丹後市教育委員会と京都府警察本部との間の児童生徒の健全育成に係る相互連絡に関する協定の締結について
	21	京丹後市就学指導委員会規則の一部改正について
	22	京丹後市立学校他校通級実施要綱の一部改正について
	23	京丹後市児童・生徒遠距離通学補助金交付要綱の全部改正について

開催日	議案番号	議 案 件 名
	24	欠番
	25	京丹後市指導主事の任命について
29. 3. 23	26	平成 2 9 年度教育委員会関係予算の訂正について
	27	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について
	28	京丹後市保育所保育事業補助金交付要綱の一部改正について
29. 3. 27	29	平成 2 9 年度京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について

教育委員会制度について

教育委員会は、都道府県及び市町村等におかれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツ振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

(教育委員会制度の根拠法律：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」)

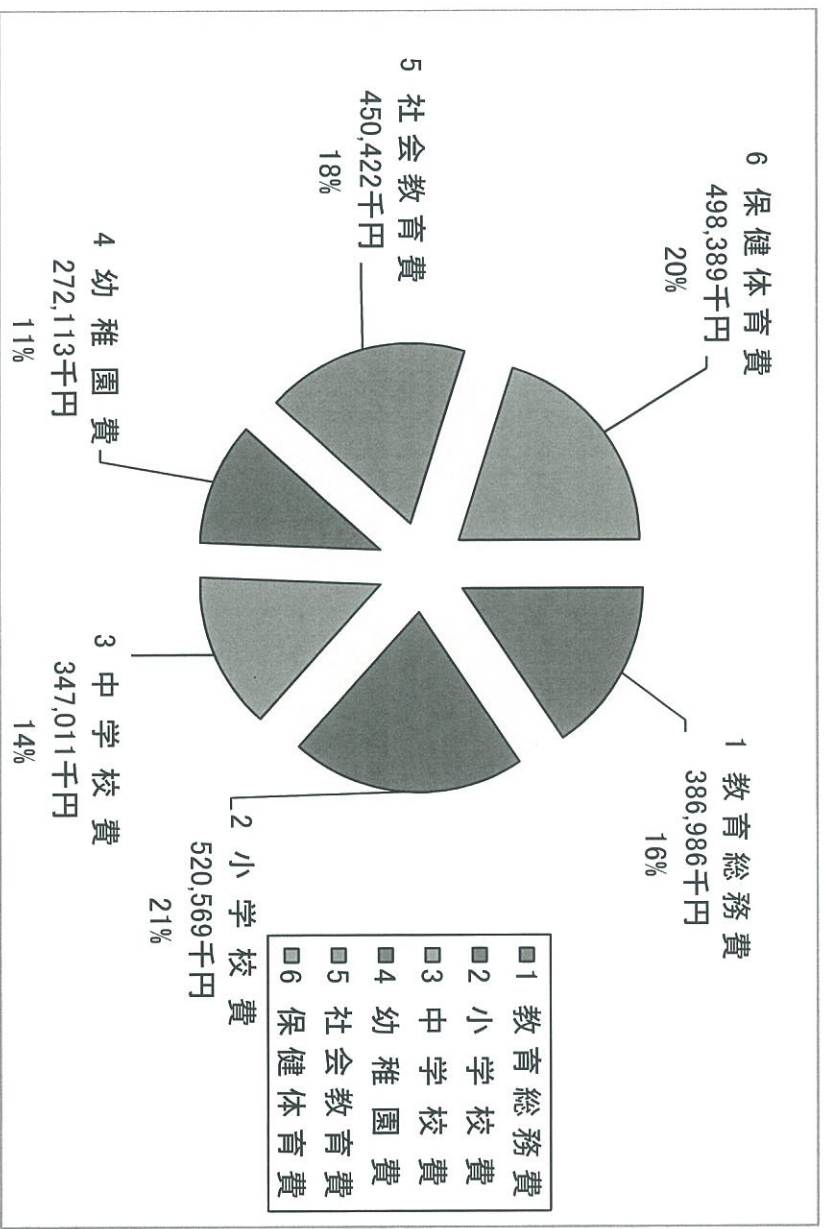
教育委員会の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の中立性と安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国・都道府県・市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一体的な推進、の6つがあります。

4 教育費予算の概要

(単位：千円)

区分	平成28年度	平成27年度	比較
一般会計総額	31,560,000	31,910,000	△ 350,000
教育費	2,475,490	2,775,076	△ 299,586
(教育費の占める割合)	7.8%	8.7%	-
1 教育総務費	386,986	485,721	△ 98,735
2 小学校費	520,569	721,116	△ 200,547
3 中学校費	347,011	390,744	△ 43,733
4 幼稚園費	272,113	183,144	88,969
5 社会教育費	450,422	482,197	△ 31,775
6 保健体育費	498,389	512,154	△ 13,765

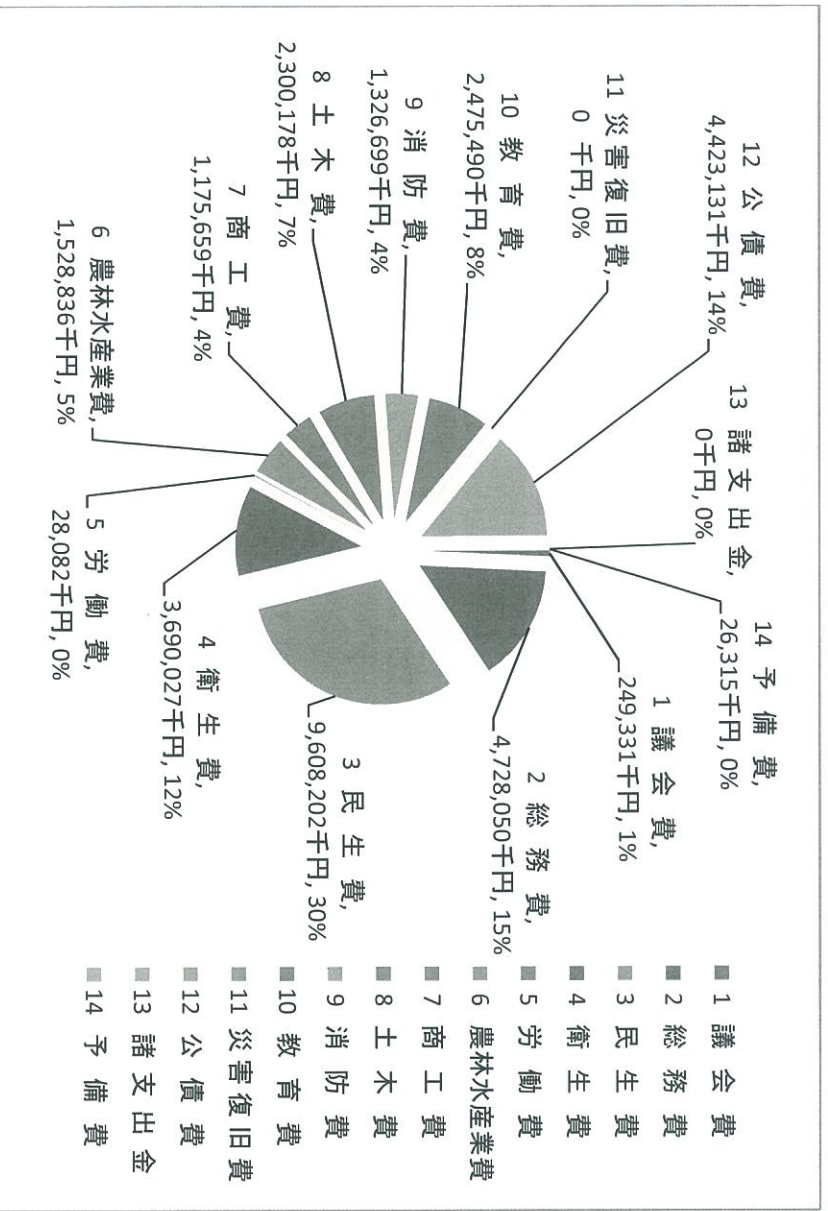
民生福祉費	3,168,588	3,148,451	20,137
(1) 児童福祉総務費	246,282	223,179	23,103
(3) 保育所費	1,865,670	1,816,163	49,507



一般会計歳出予算の目的別内訳

(単位：千円)

区分	平成28年度	平成27年度	比較
1 議会会費	249,331	266,625	△ 17,294
2 総務会費	4,728,050	4,409,150	318,900
3 民生会費	9,608,202	9,513,675	94,527
4 衛生会費	3,690,027	3,674,519	15,508
5 労働会費	28,082	40,458	△ 12,376
6 農林水産業費	1,528,836	1,528,581	255
7 商工会費	1,175,659	1,191,251	△ 15,592
8 土木会費	2,300,178	2,514,768	△ 214,590
9 消防会費	1,326,699	1,155,575	171,124
10 教育会費	2,475,490	2,775,076	△ 299,586
11 災害復旧費	0	140,000	△ 140,000
12 公債会費	4,423,131	4,682,061	△ 258,930
13 諸支出金	0	0	0
14 予備費	26,315	18,261	8,054
合計	31,560,000	31,910,000	△ 350,000



5 京丹後市教育振興計画(平成27年度～平成36年度) 進捗管理表

【重点目標1】 就学前の子どもの教育・保育環境を充実します。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	H28年度末	28年度成果と今後の課題
1. 就学前教育の環境整備 2. 保幼小の連携強化	幼稚園の数	園	4(平成25年度)	6	6	第2次京丹後市保育所再編等推進計画を策定し、平成33年度までの3か年を期間として、①保育所の再編、②民営化の検討、③認定こども園への移行などを定めた。現在の5つのこども園は30年度に、網野幼稚園は31年度に、認定こども園に移行するため、30年度末をもって市立幼稚園は廃止となる。
	病後児保育の実施事業所数	か所	0(平成25年度)	1	1	平成27年度の開設から2年目を迎え、徐々に利用が増加した。課題としては、特に子育て世代に、この制度の存在を伝える広報活動の推進がある。
	子育て支援センター数	か所	7(平成25年度)	8	8	市内8か所で開設しており、保育士、保健師、など専門職が子育て相談に対応することも、子育て世代の広達となり、情報共有など居場所を提供することができた。課題は、利用者が増加しているため、活動に十分なスペースの確保が難しく、児童の年齢に応じたプログラム編成により、利用の曜日を決める、という調整をせざるを得ない点がある。
	一時預かり実施事業所数	か所	6(平成25年度)	9	10	平成28年度から、大宮北保育所とこうりゅう保育所を公設民営に移行させたことに伴い、両施設とも一時預かりを開始して、サービスの向上を図ることができた。
	保育所・幼稚園職員の全体研修数	回	3(平成25年度)	5	3	予定どおり開催できた。今後は、幼稚園教育要領、保育指針等3指針の同時改訂、認定こども園への移行などに対応するため、より専門的な研修が必要となる。

重点目標2 確かな学力・生き抜く力を育みます。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	H28年度末	28年度成果と今後の課題
1. 小中一貫教育の推進 2. 学校園、家庭、地域の協働による教育力の向上 3. 確かな学力の育成 4. 社会を生き抜く力の育成	学校園関係者による中学校区(学園)ごとの検証・評価・取り組みの改善のサイクルの確立	校区	実施中学校区 0 (平成25年度)	全中学校区(学園)で実施 6 (導入校)		全ての学校の学校関係者評価の必須項目に「小中一貫教育の推進」を設定し、学園の取組等についての検証・評価を各校園単位によりPDCAサイクルで進めることができた。一方で、学園単位での学校と地域の連携を強化し、学園評価を進めることについては、全ての学園とはなっていないため導入準備は確実に進んでいる。今後は、全ての学園単位においてPDCAサイクルの確立を早期に実現する必要がある。
	学校の授業時間以外の勉強時間が1時間以上の児童生徒の割合	%	※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒質問紙(平成25年度)小6・中3	小学生 80%以上 中学生 70%以上	小学生76.3% 中学生55.2%	小中一貫教育の推進により、各学園で「家庭学習の手引き」を作成し、学習習慣の定着に向けた指導をしてきたことなどから、中学生では、部活動や生活習熟等の影響による家庭学習時間の確保が課題となる中、前年度と比較して減少に転じていることから、家庭学習の充実に向けた家庭との連携を進め、小中学校の家庭学習習慣の定着をより図っていく必要がある。
	一貫性・系統性のある指導による確かな学力の定着		小中学校各教科の全国平均正答率 ※毎年の文部科学省「全国学力・学習状況調査」	小学生70.0% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」生徒質問紙(平成23年度)	中学校の全教科全国平均以上 中学校教員の除く全教科全国平均以上	平成28年度は、全ての教科で全国平均を上回った平成26年度には及ばなかったものの、概ね全国平均を上回った。これは、各学園・学校が本調査等を行ったことや小中一貫教育の全領域にわたる指導方法の一貫性、連続性、系統性を重視した指導が確実に進んでいて、向上を図るために、授業改善や各学園での授業研究等を推進している必要がある。
	将来の夢や目標を持っていく生徒の割合	%		中学生90%以上 中学生66.5%		将来の夢や目標を持っている本邦生徒の割合は、全国・府平均に比べて低い状況にある。引き継ぎ、キャリア教育の観点も入った「丹後学」のモデルカリキュラムを積極的に活用することによる、生徒の自己肯定感を高める取組や小中一貫教育によるキャリア教育のより一層の推進・充実を図っていく必要がある。

重点目標3 子どもを健やかに育む教育環境を充実します。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	H28年度末	28年度成果と今後の課題
1. 子どもの安全・安心の確保 2. 学校施設環境等の整備充実	市立小学校の耐震化	%	88.5(平成25年度)	100	100	学校施設耐震化計画による小学校の耐震化は平成27年度をもって完了した。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	H28年度末	28年度成果と今後の課題
3. 週に1回以上支援体制の充実	市立中学校の前震化	%	93.5 (平成25年度)	100	100	学校施設耐震化計画による中学校の前震化は平成26年度をもって完了した。
4. ポラントニアによる学習支援の推進	非構造部材の前震対策	%	0 (平成26年度)	100	100	国が指導する大規模空間（体育館やラウンジルームなど200㎡以上の空間を有する箇所等）の非構造部材落下防止措置について、平成28年度は残る12校（小学校10校、中学校2校）で工事を実施し、当該年度をもって非構造部材前震対策は完了した。
	学校支援ポラントニア登録者数	人	427 (平成25年度)	500.0	546	ポラントニア登録者数は毎年増加している。 しかし、学校ごと又不に合わせたポラントニアが固定化されてきていることから、より多くのポラントニアに活動（仕事）していただく機会を提供に努める必要がある。

重点目標 4 豊かな人間性・社会性を育みます。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	H28年度末	28年度成果と今後の課題
1. 人を思いやり、尊重する社会性の育成	不登校児童生徒の発生率	%	小学校 5人/0.16% 中学校 47人/2.49% (平成25年度)	減少させる	小学校 0.37% 中学校 2.35%	不登校児童生徒の発生率は、小中一貫教育の推進による各校園での未然防止の取組や確実な情報の共有等によって、不登校解消に一定の成果は上がっているものの、小中学校ともに不登校の出現率が増加傾向にある。特に中学校では、前年度比0.44%の増加となっており、出現率を減少させるための効果的な未然防止の取組が必要である。
2. 生徒指導体制、教育相談体制の充実	いじめの認知件数/発生率	%	小学校 386件/12.7% 中学校 189件/10.2% (平成25年度)	減少させる	小学校318件 11.7% 中学校22件 2.1%	いじめの認知件数は、児童生徒への日常の指導、実態把握や情報共有、小中一貫教育における各学園の取組等によって、小中学校ともに改善が見られる。一方小学校では、低学年の件数が増加傾向にあるものの、発達段階の特性によるものと分析しており、認知件数のみにとらわれず、より丁寧な指導を組織的に継続していく必要がある。
3. 家庭・地域の教育力の向上	認知されたいじめの年度内解消率	%	小学校 357件/82.5% 中学校 181件/95.8% (平成25年度)	100	小学校100% 中学校100%	認知されたいじめの年度内解消率は、年間3回のいじめ調査による実態把握や教職員の情報共有、児童生徒への丁寧な指導、いじめについて指導しきる体制確保等により、年度内に全て解消した。今後も完全解消を進めるため、さらなる体制強化とともに実態把握と丁寧な指導を進めていく必要がある。
4. 芸術文化を通じた豊かな感性、情緒の育成	いじめはいいけないことだという意識がある児童生徒の割合	%	小学生 97.0% 中学生 90.9% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒意向用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学校 99.1% 中学校 93.7%	いじめはいいけないことだという意識がある児童生徒の割合は、年間3回のいじめ調査や児童生徒への丁寧な指導により、小学校でやや低下したものの小中学校ともに高い水準にある。今後も児童生徒の豊かになることを目指し、引き続き小学校低学年からの規範意識の醸成についての系統的な指導を進めていく必要がある。
	学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合	%	小学生 93.8% 中学生 90.8% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒意向用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学校 94.0% 中学校 95.8%	学校のきまりや規則を守る意識がある児童生徒の割合は、中学校でやや減少したものの、各校各学園におけるきめ細やかな指導や小中一貫教育による一貫性のある指導等により、引き続き小学校低学年からの規範意識の醸成を図る必要がある。
	人の気持ちが分かる人間になりたいたいと思う児童生徒の割合	%	小学生 94.4% 中学生 95.2% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒意向用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学生 93.5% 中学生 94.0% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒意向用紙（平成25年度）小6・中3	人の気持ちが分かる人間になりたいたいと思う児童生徒の割合は、小学校でやや減少したものの、小中学校ともに比較的高い数値となっており、教育活動を通じた指導による児童生徒の身に付いてきている。今後さらに高めていくため、来年度の取り組みが必要である。
	人の役に立つ人間になりたいたいと思う児童生徒の割合	%	小学生 94.0% 中学生 93.2% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒意向用紙（平成25年度）小6・中3	増加させる	小学校 95.4% 中学校 93.6%	人の役に立つ人間になりたいたいと思う児童生徒の割合は、中学校でやや減少したものの、小中学校ともに比較的高い数値となっており、身に付いてきている。今後さらに高めていくため、来年度の取り組みが必要である。

重点目標 5 生涯にわたる豊かな学びを支援します。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	H28年度末	28年度成果と今後の課題
1. 生涯学習の体制づくり	青少年の体験活動事業数	事業	42	60	55	各地域公民館で独自の事業を考え実施していることや、京都府や府内大学と連携し事業を行っていることにより概ね順調に事業数が増加している。今後は市内社会教育団体や学校と連携・協力をしながら事業を行う体制づくりが必要である。
2. 人権教育の推進						
3. 文化芸術活動の推進						
4. 社会教育施設等の整備充実	趣味・教養講座数	事業	29	35	39	各地域公民館で積極的に事業に取り組んだ結果、目標値を達成することができた。一方で、新規の講座が少なくなったり、また把柄と講座内容の見直しにより、スラッシュ型イベントも概ね定数から社会のニーズに合った、より魅力的な講座実施を図る必要がある。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	H28年度末	28年度成果と今後の課題
	地域課題学習講座数	事業	2	10	10	平成26年度に各地区公民館が条例設置公民館から自治公民館へ移行し、28年度が経過。28年度において地域活動を入れた公民館活動を目指し、市及び町単位に設置された連絡協議会での研修会を実施するなどの取り組みが行われた。
	高齢者大学の参加者数	人	789	1,000	916	一般講座への参加人数が増加し、目的に沿った成果が出ていた。また週学講座では、幼稚園や福祉施設への訪問や、福祉施設への作品展示など地域活動の交流も進み、受講生も講座に増しよってきたが、一定落ち着いた形となっており、講座の増加や参加呼びかけに工夫が必要である。
	人権学習会の参加者数	人	820 (平成26年度)	1,200	1371	人権学習への参加者数は人権講演会や子ども映画会、視聴覚障害者研修会等実施していることで目標数値を達成しており、更に高い目標へ向け取り組むが、他団体と連携し学習の質を向上させ、今後も高水準の参加者数を確保する。
	図書の日間貸出冊数 (市民1人当たり)	冊	5.2 (平成26年度)	7.0	5.31	貸出数は減少したが、今より以上に多様な学習機会の提供に寄与した。講座等の開催の開催を増やしたり、市民が利用しやすい工夫を講じていた。また、図書館を利用していた市民がたたくという現状のなか、今後も様々な工夫を凝らした広報啓発活動を継続していき、利用者数・貸出数にも繋がっていき、図書館の姿を検討していく必要がある。
	文化協会加盟サークル数	団体	170	200	163	来場者や会員の意見を検証し、総合文化祭(舞台芸術祭・総合作品展)の実施時期を見直し、2年目を迎え、市民にも実施時期が定着してきている。また、市民の方を対象にしたサークル体験講座を実施し、体験を通じて文化活動の魅力、楽しさを知っていたことも、サークルの活性化と新規加入につながる活動を行っている。一方で、会員の高齢化による加盟団体の退会が課題となっている。

重点目標 6 歴史文化を活用し、郷土への愛着と誇りを育みます。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	H28年度末	28年度成果と今後の課題
1. 豊かな歴史文化等を学習する機会の充実	文化財セミナー、京丹後史博士講座等の文化財事業参加者数	人	1,468人 (5事業 17講座) (平成26年度)	1,700	593	①文化財セミナー5回 250人、博士講座10回 183人、丹後歴史記念展 100人、網野獅子山古墳現地説明会 60人 当項目の実数値は、文化財保護課として文化財セミナー博士講座の実施数の参加者数を数値目標として掲げている。 社会教育関係、高齢者大学の講師として歴史講座を文化財保護課職員が対応したこともあるが、その内容は、含めていない。(参考) 大堂地域高齢者大学歴史政策講座10人 参加者が減少、高齢化する中、市庁舎1階で放映する等広く情報発信が出来た。また、講座案内に高校生チームを起用する等多彩な方法で、啓発事業を展開した。
2. 文化財の保護と活用	資料館、文化館入館者数	人	13,808人 (3施設) (平成26年度)	15,000	14,227	①網野郷土資料館 713人 小学校3年の社会科見学は、12小学校合計295人が訪れた。しかし、全体的には27年度より入館者が減少した。②丹後古代の里資料館 3,735人 交通アークセナの改善の影響により入館者は、昨年年度より増加した。昨年度も一昨年度より入館者は増加している。③史跡・道路関係に起因すると考えられるが、④史跡・道路関係9、779人 昨年度、交通アークセナの改善、旅行社のコーナーに設定された影響等、26年度は減少したが、丹後半島一周道路の通行止め等の影響等で26年度は減少したが、リピーターを含め市内外からの入館者を増加させるため引き続きPR強化を図る。
3. 資料館施設等の整備充実	史跡整備	遺跡	史跡整備6遺跡 (平成26年度) ※京丹後市文化財マスタープラン	8	7	文化財マスタープランにより市内主要遺跡等の現状、整備等について検討し整備方針を定めた。整備済の史跡として、下記の6史跡とし、今後、早期に整備すべき史跡として、網野獅子山古墳、整備済の史跡、 ①堀村断崖 ②湯舟坂2号墳 ③高山12号墳 ④復元堀1号墳、⑤輝湖古墳、⑥浜詰遺跡、の6史跡 現在、網野獅子山古墳の整備実施中、32年度完成予定。

重点目標 7 たくましく健やかな体づくりと生涯スポーツを推進します。

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	H28年度末	28年度成果と今後の課題
1. 健康な体づくり	朝食を毎日食べる児童生徒の割合	%	小学生97.3% 中学生91.1% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒調査用紙 (平成25年度)	小学生100% 中学生95%以上	小学生96.9% 中学生94.0% 小学生92.0% 中学生91.0% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒調査用紙 (平成25年度)	朝食を毎日食べる児童生徒の割合は、小学校でやや減少したものの中学校では増加傾向にあり、小中学校ともに比較的高い数値で推移している。各校や各学園における現状向けの啓発や児童生徒への指導に引き続き、具体的な家庭への取組を進めていく必要がある。
2. 地域スポーツ活動の推進	平日、午前7時より前に起きる児童生徒の割合	%	小学生98.4% 中学生77.2% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒調査用紙 (平成25年度)	小学生100% 中学生85%以上	小学生98.2% 中学生61.3% ※文部科学省「全国学力・学習状況調査」児童生徒調査用紙 (平成25年度)	平日午前7時より前に起きる児童生徒の割合は、小中学校ともに90%以上となっているが、中学校では指導の調査時期によって実数値が大きく変動する現状がある。今後各校、各学園で課題を共有し、具体的な家庭への啓発等により改善を図っていく必要がある。
3. 競技力の向上						
4. 社会体育施設等の整備充実						

施策の方向性	主な目標指標	単位	計画作成時	目標値 (H36)	H29年度末	28年度成果と今後の課題
	小学生（5年生）の体力テスト全国平均以上		8種目中7種目	全種目	8種目中5種目	小学校においては、握力、上体起こし、長座体前屈などの柔軟性に対して全国平均を下回っている状況が見られる。今後は各校への課題の周知により、体育の時間だけでなく、体カブづくりの取組等により意識的に課題のある運動能力についての克服を図っていく必要がある。
	中学生（2年生）の体カテスト全国平均以上		8種目中4種目	全種目	8種目中4種目	中学校においては、反復横跳び、シャトルラン、50メートル走以外の運動能力について全国平均を下回っている状況が見られる。今後は各校への課題の周知により、体育の時間だけでなく、部活動等で意識的に課題のある運動能力についての克服を図っていく必要がある。
	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	21.6% 市民アンケート調査結果 (平成24年度)	66.0% 国の目標	40.9%	今後行いたいスポーツとして割合の高いウオーキング（17.7%・94+4%）を重点推進種目として推進した結果、市全体に浸透しつつある。 今後の課題としてウオーキングイベント等の事業連携による周知徹底などスポーツ人口の更なる増加に努める必要がある。
	京都市民総合体育大会入賞競技数	競技	6競技 京都市民総合体育大会結果 (平成25年度)	10	5	各競技共に選手層の拡大を図る努力の結果、入賞競技数も増え、総合成績もH25：8位、H26：6位、H27：5位と年々上がってきていたが、H28は入賞競技数が5競技と減少し、総合成績は9位に終わった。目の固定化が進んでおり、更なる選手の発掘・拡大が必要である。
	公共スポーツ施設の利用回数	回	11,253回 公共施設利用状況調査結果 (平成24年度)	13,000	12,748	公共施設（社会体育施設）の利用促進のためにインターネットによる公共施設予約の拡充を図り、利用者の利便性に努めた。 施設での老朽化が進む中で、今後も継続して市民が安全・快適に利用できるための計画的な施設整備を行う必要がある。

6 主要な決算の概要

義務教育施設環境整備事業（再編交付金活用事業）

小中学校非構造部材落下防止事業（再編交付金活用事業）

学校再配置推進事業

小中一貫教育推進事業

学習支援体制整備事業

いじめ防止啓発推進事業

児童生徒国際交流事業

放課後児童健全育成事業

子育て支援センター事業

学校支援地域本部事業

高齢者教育事業

家庭教育事業

文化財保護啓発事業

遺跡整備事業

事業名称		再編交付金活用事業	
個別事業名		決算額	
17 義務教育施設環境整備事業		237,710千円	
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実	
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実	
決算額の内訳	13 委託料	監理業務委託料	3,672千円
		設計委託料	10,562千円
	15 工事請負費	工事請負費	223,476千円
主要な事務・事業の概要	<p>学習環境の向上を図るため、小学校4校の普通教室等の空調化工事を実施した。また、平成29年度実施予定の小学校における設計業務を委託した。</p> <p>○小学校普通教室等空調化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監理業務委託料 3,672 千円 大宮南、弥栄、高龍、かぶと山小学校 計4校 ・設計委託料（平成29年度整備分） 10,562 千円 峰山、いさなご、新山、網野北、間人、久美浜小学校 計6校 ・工事請負費 223,476 千円 大宮南、弥栄、高龍、かぶと山小学校 計4校 		
	主な財源	国補 市債	再編交付金 小学校施設整備事業債（合併特例債）
事業所管課		教育委員会事務局／教育総務課	

事業名称		再編交付金活用事業	
個別事業名		決算額	
18 小中学校非構造部材落下防止事業		28,698千円	
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実	
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実	
決算額の内訳	13 委託料	監理業務委託料	2,492千円
	15 工事請負費	工事請負費	26,206千円
主要な事務・事業の概要	<p>小中学校の体育館やランチルームなど大規模空間において、安全性を確保するため、天井材や照明器具の非構造部材の落下防止工事を行った。</p> <p>○小中学校非構造部材落下防止事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監理業務委託料 2,492 千円 下記小中学校 12校 ・工事請負費 26,206 千円 小学校 いさなご、長岡、大宮第一、大宮南、網野北、 網野南、島津、宇川、豊栄、弥栄 計10校 中学校 弥栄、久美浜 計 2校 		
	主な財源	国補	再編交付金
事業所管課		教育委員会事務局／教育総務課	

17

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	08学校再配置事業	
細事業名	01 学校再配置推進事業			決算書	P.310
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
1,051千円	1,096千円	45千円	95.8%	1,532千円	
目的	京丹後市学校再配置基本計画に基づく「学校づくり準備協議会」を設置し、学校再配置による新しい学校づくりに向けた取組を推進する。				
主要な事務・事業の概要	学校再配置を推進するため、開校式の実施及び閉校に伴う地域(旧校区)での取組を支援した。				
	平成28年度開校	いさなご小学校			
	○式典関連経費			114千円	
	・費用弁償(開校式:校歌校章作成者)			36千円	
	・需用費(式典用装飾花、看板等)			69千円	
	・役務費(白布等クリーニング手数料)			9千円	
	○閉校記念誌補助金(吉原小)			937千円	
主な財源					
成果・課題	○再配置後の校区の関係者で構成する「学校づくり準備協議会」を設置し、新たな学校づくりに向けて取り組み、計画通りの再配置を実現することができた。 ○引き続き、学校再配置基本計画の後期計画に基づき、学校再配置を計画的に推進する必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	11小中一貫教育推進事業	
細事業名	01 小中一貫教育推進事業			決算書	P.312
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
684千円	772千円	88千円	88.6%	1,142千円	
目的	「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、小中一貫教育の推進に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。				
主要な事務・事業の概要	小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による調査研究を行うとともに、「小中一貫全市展開」及び「京丹後市学校教育指導の重点ダイジェスト版」のポスター・チラシを作成した。また、「京丹後市小中一貫教育モデルカリキュラム」を増刷し、各学校等へ配布した。 平成28年度より市内全域での小中一貫教育を実施し、教育活動の実践、検証、評価を行った。				
	○小中一貫教育研究推進協議会(委員謝金、費用弁償、視察旅費ほか)			361千円	
	・協議会委員	14人(大学教授、学識経験者、PTA、学校教職員等)			
	・協議会の開催	3回			
	・調査研究事業	小中一貫教育実施校における効果と課題の整理			
	○学校教育連携専門部会(消耗品費、印刷製本費)			308千円	
	・専門部会	学校運営部員	6人	カリキュラム作成部員	8人
	・開催回数	学校運営部会	3回	カリキュラム作成部会	15回
		丹後学(6回)、社会科(7回)			
		新学習指導要領検討部会(2回)			
	○教育フォーラムの開催(消耗品費)			15千円	
	・教育フォーラム	(参加者:120人)			
		開催日:平成28年12月1日(木)			
		場所:網野中学校			
主な財源					
成果・課題	○平成28年度より小中一貫教育が市内全域での実施となり、小中一貫教育推進基本計画に基づくより良い教育体制の整備を推進することができた。 ○小中一貫教育研究推進協議会及び学校教育連携専門部会による研究と検証を積み重ねた。 ○引き続き、小中一貫教育を推進するための研究及び検証を進める必要がある。				
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課				

18

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業
細事業名	02 学習支援体制整備事業			決算書 P.312
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
30,158千円	30,263千円	105千円	99.6%	2,098千円
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究を実施することにより、子どもたちの学びを支援する仕組みづくりを進める。			
主要な事務・事業の概要	<p>地域ぐるみでの放課後学習の環境づくり「小学生放課後わくわく自習室」を継続するとともに、土曜日を活用した教育活動、情報メディアを活用した学習支援の実証研究を行った。</p> <p>また、中学校の放課後学習支援を効果的に行うため、ICT機器を整備した。</p> <p>○教育活動の実証研究</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学生の放課後学習支援 <ul style="list-style-type: none"> 小学生放課後わくわく自習室（運営委託料） 215千円 地域人材を活用し、地区公民館等を会場に、毎週水曜日の放課後等に学習支援を行った。 実施地区（地域）：宇川連合区、黒部区、佐野甲区、奥大野区 中学生の放課後学習支援 29,254千円 <ul style="list-style-type: none"> 学習が遅れがちな中学3年生を対象に、学習習慣の確立と基礎学力の定着、学力向上による高校進学率の向上を目的として、放課後の学習支援を行った。また、学習支援をより効果的に行うため、全中学校にICT機器を整備した。 放課後学習支援（講師謝金、消耗品費） 1,008千円 ICT機器の導入（備品購入費） 28,246千円 <ul style="list-style-type: none"> タブレット型パソコン 246台（41台×6校） プロジェクタ型電子黒板 6台（1台×6校） など 土曜日を活用した教育活動（消耗品費、役務費） 689千円 <ul style="list-style-type: none"> 第二土曜日を「わくわく学習サタデー」に設定し、各学校の創意工夫による教育活動の調査研究を全小中学校で実施した。 <p>○情報メディアの活用研究として、高校受験対策番組「数学基礎講座」をケーブルテレビで放映するとともにDVD教材として貸し出しを行った。</p>			
	主な財源	府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金（2/3）	762千円
	府補	地域で支える学校教育推進事業費補助金（ICT）（10/10）	28,246千円	
	府委	土曜日を活用した教育の在り方実践研究事業費委託金（10/10）	120千円	
成果・課題	<p>○小学生を対象とした「放課後わくわく自習室」を4地区（地域）で継続実施することで、地域と学校が連携した学びの支援体制づくりの検証を進めることができた。</p> <p>○中学生の放課後学習支援を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着に寄与した。また、ICT機器の整備により、個々の学習進度に応じた学習ができる環境の構築を進めた。</p> <p>○放課後や土曜日を活用した教育活動の実証研究や情報メディアの活用研究を踏まえ、ニーズに応じた支援体制を構築する必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	13いじめ防止推進事業
細事業名	01 いじめ防止啓発推進事業			決算書 P.314
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
216千円	335千円	119千円	64.4%	335千円
目的	「京丹後市いじめ防止等基本方針」に基づくいじめ防止等の啓発活動を実施し、市と市民が一体となっていじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進する。			
主要な事務・事業の概要	<p>11月を「いじめ防止推進月間」と位置付け、いじめ問題やいじめの防止等の取組について、市民にいじめ問題について正しい理解を深めてもらうとともに、意識の高揚を図るため、街頭キャンペーンによる啓発グッズの配布や懸垂幕の設置を行った。また、学校、家庭、地域社会の連携強化を図るため、「いじめ防止講演会」を実施した。さらに、問題事象に対する迅速な対応や早期解決に向けた支援を行うため、いじめ相談専用電話を設置した。</p> <p>○報償費 92千円</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止講演会講師謝金 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成28年11月15日（火） 会場：アグリセンター大宮 講師：特定非営利法人ジェトロ理事 小森美登里氏 参加者数：102人 <p>○需用費 98千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷製本費 90千円 <ul style="list-style-type: none"> いじめ防止講演会チラシ（21,000枚） いじめ防止啓発グッズ（PRカード 児童用300枚） 消耗品費（講演会花代、事務用品） 8千円 <p>○役務費 26千円</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ相談専用電話設置費 <ul style="list-style-type: none"> フリーダイヤル利用料、いじめ相談専用携帯電話利用料 相談受付：24時間対応 対応者：教育委員会事務局指導主事、臨床心理士 ※いじめ相談件数：0件 <p>○インターネットモラル研修会 ※京都府の出前講座を活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成28年8月5日（金） 会場：京丹後市役所大宮庁舎 講師：京都府総合教育センター 谷田浩平氏・平野学氏 参加者数：52人 			
	主な財源			
成果・課題	<p>○いじめ防止講演会及び街頭啓発キャンペーンを通じて、広く市民にいじめの問題等について、正しい理解や意識の高揚を図ることができた。</p> <p>○スマートフォン等を利用したSNSなど、インターネットを介した誹謗中傷やいじめ事象が増加傾向にあることから、保護者への啓発活動と併せて教職員の指導力の向上を図る必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／学校教育課			

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	15児童生徒国際交流事業
細事業名	01 児童生徒国際交流事業			決算書 P.314
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実		
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
3,300千円	3,421千円	121千円	96.4%	0千円
目的	語学力の向上はもとより、国際感覚をもちグローバル社会で活躍できる人材育成へつなげる国際交流事業を推進する。			
主要な事務・事業の概要	<p>○小学生の国際交流事業 63千円</p> <p>平成27年6月のケネディ駐日大使の来丹を契機に、鳴き砂の浜があるマサチューセッツ州のマンチェスター・メモリアル小学校と島津小学校との交流を行い、児童が製作する作品の交換等を行った。</p> <p>消耗品費、通信運搬費、ビデオ撮影・編集委託料</p> <p>○中学生の海外派遣 3,237千円</p> <p>学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため海外へ派遣した。</p> <p>派遣先：ニュージーランド ニュープリマス市 スポッツウッド・カレッジ</p> <p>派遣期間：平成29年3月17日(金)～25日(土)の8泊9日間</p> <p>派遣生徒：中学2年生 9人(選考により決定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前視察(平成28年8月1日～4日) 605千円 報償物品、特別旅費、通信運搬費 海外派遣(平成29年3月17日～25日) 2,543千円 報償物品、旅費、燃料費、通信運搬費、バス運転委託料 有料道路通行料、中学生海外派遣事業費補助金 ほか その他(事前研修会、国際電話代等)経費 89千円 講師謝金、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費 ほか 			
主な財源				
成果・課題	<p>○中学生海外派遣及び小学生国際交流を行い、語学力の向上及び国際的視野をもった人材育成へつなげる国際交流事業を推進することができた。</p> <p>○国際的視野を持った児童生徒を育成するため、国際交流事業の取組の充実を図る必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/学校教育課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	02放課後児童健全育成事業
細事業名	01 放課後児童健全育成事業			決算書 P.160
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進		
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
151,160千円	151,301千円	141千円	99.9%	151,853千円
目的	保護者の就労等により放課後及び長期休業期の昼間に家庭保育を受けることのできない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。			
主要な事務・事業の概要	<p>保護者の就労等により、放課後及び長期休業期等の昼間に家庭保育を受けることのできない小学校に通学する児童(平成27年度から児童受入を5・6年生まで拡大)を対象に、安心して生活できる場を提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めた。</p> <p>○開設状況</p> <p>年間開設日数：290日 開設時間：授業終了後～午後6時30分(長期休業期及び土曜日は午前7時30分～) 年間平均児童数：438人(前年度比68人増)</p> <p>〔峰山60人・長岡23人・いさなご35人・大宮56人・口大野①44人・口大野②30人〕 〔網野南36人・網野北28人・丹後31人・弥栄31人・久美浜64人〕</p> <p>○需用費(消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料) 4,781千円</p> <p>○委託料(消防設備・浄化槽点検、児童送迎車運転) 9,601千円</p> <p>○放課後児童健全育成事業委託料 134,711千円</p> <p>○工事請負費(峰山：枯れ木伐採工事、いさなご：コンセント回路増設工事、網野南：エアコン設置工事、久美浜：内装工事) 1,059千円</p> <p>○その他の経費(火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか) 1,008千円</p>			
主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	14,368千円	
	府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	14,368千円	
	使用料	放課後児童健全育成事業利用料	18,486千円	
	使用料	公有財産使用料	10,746千円	
	諸収入	旧溝谷保育所光熱水費等負担金	244千円	
成果・課題	<p>○利用者数が増加する中、クラス単位を増設するなどして待機児童ゼロを継続し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援した。</p> <p>○年々増加する利用者に対応するため、小学校の空き教室の活用など施設拡充を検討する必要がある。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課			

20

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	04子育て支援ゆか-事業		
細事業名	01 子育て支援ゆか-事業			決算書 P.166		
総合計画	計画項目	25 子育て支援の総合的な推進				
	(旧計画項目)	28 子育て支援の総合的な推進				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
12,651千円	12,795千円	144千円	98.8%	13,940千円		
目的	保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。					
主要な事務・事業の概要	<p>幼稚園入園前・保育所入所前の子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、8か所の支援センターを設置することで、地域に密着した子育てを推進した。</p> <p>また、10月31日に開催した子育て講演会「親子ふれあい遊び」は、保護者73人、子ども85人、計158人の参加があった。</p>					
	○支援センター利用数		○親子リフレッシュ体操教室			
	地域子育て支援センター	延べ利用人数		クラス		
		児童	保護者	児童	保護者	
	峰山	2,513人	1,953人	ベビー	210人	201人
	大宮北	1,935人	1,733人	リトルキッズ	110人	101人
	大宮南	1,455人	1,209人	キッズ	84人	67人
	網野	1,945人	1,810人	合計	404人	369人
	丹後	1,089人	949人	※ 年間各10回実施		
	弥栄	1,219人	988人	○なかよし広場		
かぶと山	1,089人	914人			延べ利用人数	
こうりゅう	1,899人	1,554人	児童	保護者		
合計	13,144人	11,110人	合計	369人	347人	
				※ 毎月1回		
○臨時職員賃金及び共済費		11,569 千円				
○子育て講座・親子体操教室講師謝礼		200 千円				
○旅費		10 千円				
○通信運搬費・手数料		244 千円				
○その他経費(消耗品費等)		628 千円				
主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	3,787千円			
	府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	3,787千円			
成果・課題	○保育所入所前の子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進が図られた。					
	事業所管課 教育委員会事務局/子ども未来課					

予算科目	10教育費	01教育総務費	02事務局費	12教育のまちづくり推進事業	
細事業名	01 学校支援地域本部事業			決算書 P.312	
総合計画	計画項目	26 未来を拓く学校教育の充実			
	(旧計画項目)	29 未来を拓く学校教育の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
5,329千円	5,350千円	21千円	99.6%	5,334千円	
目的	「教育と学びのまち 京丹後」の実現に向け、「学校の二一ス」と「地域の人の持つ力」を結び付け、学校・家庭及び地域が協力して子どもを育む環境の充実を図る。				
主要な事務・事業の概要	<p>地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能をもった地域の人材を学校支援ボランティアとして登録していただき、全ての幼稚園、小・中学校で、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行った。</p> <p>○実施期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日</p> <p>○実施地域 市内全ての小学校(19校)・中学校(6校)・幼稚園(6園)</p> <p>○地域コーディネーターの配置 6人(各地域公民館)</p> <p>○ボランティア登録者数 546人(平成28年度新規登録者数36人)</p> <p>○広報誌の発行(2回) ボランティア募集・活動報告</p> <p>○ボランティア活動</p> <p><活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援(教科指導補助、総合的な学習の時間の講師、部活動指導支援) ・環境支援(学校環境整備、学校図書室整理、安全確保、学校行事等の補助等) <p><活動実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰山中学校区 660日/3,191人 ・大宮中学校区 134日/ 208人 ・網野中学校区 600日/4,539人 ・丹後中学校区 492日/2,852人 ・弥栄中学校区 321日/ 722人 ・久美浜中学校区 433日/3,124人 <p>○謝金 4,581 千円</p> <p>○旅費 324 千円</p> <p>○消耗品・印刷製本費 420 千円</p> <p>○使用料(有料道路通行料) 4 千円</p>				
	主な財源	府補	地域で支える学校教育推進事業補助金(2/3)	3,333千円	
		<p>○地域住民の経験や特技を学校の教育活動等に活かす中で多世代交流に繋がり、市民の生きがい作りになっている。</p> <p>○地域による学校の「支援」から、地域と学校のパートナーシップに基づく双方向の「連携・協働」体制に発展させる必要がある。</p> <p>○学校活動の多様化に伴うニーズを的確に把握するとともに、地域特性を活かした人材(ボランティア登録者)をより多く確保していく必要がある。</p>			
	事業所管課		教育委員会事務局/社会教育課		

21

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	09高齢者教育事業		
細事業名	01 高齢者教育事業			決算書	P.344	
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実				
	(旧計画項目)	30 多様な学びを支援する社会教育の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
5,337千円	5,387千円	50千円	99.0%	5,716千円		
目的	高齢者大学の講座を市内全域で実施することによって、高齢者の社会参加と生きがいづくりに貢献するとともに、その知識や経験を活かした地域活動を推進する。					
主要な事務・事業の概要	○高齢者大学 5,024千円					
	・受講者数 916人(平成29年3月31日現在)					
	・実施地域 各町(各地域公民館主管)					
	学園	活動・内容				
		一般講座		趣味講座		
		回数	延べ参加者	延べ回数	延べ参加者	講座数 講座内容
	峰山	8回	522人	126回	1,566人	11 ちぎり絵、コーラス、民謡、歌謡等
	大宮	8回	392人	46回	714人	8 庭木剪定、絵手紙、パソコン等
	網野	10回	1,255人	216回	3,325人	12 陶芸、水彩画、習字、料理等
	丹後	8回	383人	54回	633人	9 生け花、詩吟、書道、俳句等
弥栄	8回	327人	67回	642人	8 書道、絵手紙、手芸、料理等	
久美浜	8回	436人	67回	860人	8 囲碁、古典文学、パソコン、料理等	
○高齢者大学院 313千円						
・受講者数 22人						
・実施回数 5回						
・実施場所 福知山公立大学						
主な財源	諸収入	社会教育事業等参加料			1,071千円	
成果・課題	○各種講座(高齢者大学・高齢者大学院)の実施により、高齢者の仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりの機会を提供することができ、高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。 ○より一層の高齢者の社会参加の促進と地域活動の活性化の推進を図ることが必要である。					
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課					

予算科目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	10家庭教育事業		
細事業名	01 家庭教育事業			決算書	P.344	
総合計画	計画項目	27 多様な学びを支援する社会教育の充実				
	(旧計画項目)	30 多様な学びを支援する社会教育の充実				
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
1,626千円	1,743千円	117千円	93.2%	1,914千円		
目的	発達段階に応じた学習機会の提供及びきめ細かな家庭教育支援を実施することによって、全ての教育の出発点であり子どもの成長の基礎となる家庭教育を推進する。					
主要な事務・事業の概要	乳幼児期から就学前・学童期、思春期の各発達段階に応じた学習機会の提供と家庭教育支援チームによる子育て支援活動を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。					
	○子育て講座 185千円					
	・幼児期子育て講座		実施回数	3回	延べ参加者数	89人
	・就学前、学童期、思春期子育て講座		実施回数	4回	延べ参加者数	113人
	○家庭教育支援チーム事業 898千円					
	<家庭教育支援チーム>(各地域公民館6チーム/子育てサポーター48人)					
	地域や家庭の教育力の低下、子育ての孤立化が進み、悩みや不安を抱えている親に対して、きめ細かな家庭教育支援を行うことを目的に、子育て経験者や子育てに関わる専門的な知識や経験を持ち、趣旨に賛同するメンバーで構成された「家庭教育支援チーム」を各地域公民館で組織し、地域課題に即した子育て支援活動を行う。					
	・子育て交流会(全チーム)		実施回数	28回	延べ参加者数	512人
	・「手紙で結ぶ家族の絆」事業(峰山・網野・弥栄・久美浜)		実施回数	各1回	延べ参加者数	238人
	・子育て広場(全チーム)		実施回数	11回	延べ参加者数	326人
・高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業(全チーム)		実施回数	24回	延べ参加者数	328人	
・広報誌発行(全チーム)		発行回数	各1回			
○京丹後市PTA協議会補助事業 543千円						
・京丹後市PTA研究大会の開催、子育て講演会の開催、各種研修会の参加、PTA安全会掛金助成						
主な財源	府補	家庭教育支援基盤形成事業費補助金(2/3)			722千円	
成果・課題	○子どもの発達段階に即した子育てに関する学習機会を提供し、子どもとのコミュニケーションの大切さや、生活習慣を身に付けさせるための家庭の役割などの重要性について、認識を深めていただくことができた。 ○関係機関との連携により、課題の共有とより効果的な学習会等の実施を図る必要がある。					
事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課					

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業	
細 事 業 名	01 文化財保護啓発事業			決算書	P.360
綜 合 計 画	計 画 項 目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
	(旧計画項目)	31 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
1,076千円	1,284千円	208千円	83.8%	906千円	
目 的	市内に数多く残されている文化財や調査成果などを市民などに公開することで郷土の歴史や文化財について学ぶことのできる機会を提供し、その認識を高める。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	<p>市民及び来訪者のために「京丹後市史」や文化財の調査成果を周知する講座（文化財セミナー・京丹後史博士育成講座）、丹後震災90年に関する企画展示等を開催した。また平遺跡出土遺物の受け取りを行ったほか、丹後・東海地方の文化交流調査事業は、前回報告書作成後に残された課題の解決に向け調査事業を継続して行った。</p> <p>○文化財セミナー 講師（6人）謝金・費用弁償、報償物品 223千円 参加者 第1回（7月19日）50人、第2回（9月4日）50人、 第3回（9月5日）50人、第4回（10月19日）40人、第5回（2月25日）60人</p> <p>○網野郷土資料館まつり 60人 「織りの実演」謝礼（2人） 12千円</p> <p>○丹後古代の里資料館企画展示 ポスター・チラシ作成、事務経費等 224千円 春季企画展示「丹後国を描いた絵図」（4月23日～6月19日）555人 夏季企画展示「絵図にみる京丹後市の景観」（6月25日～10月2日）1,272人 秋季特別展示「縁城寺の文化財」（10月8日～11月13日）711人</p> <p>○丹後震災90年関連事業 153千円 丹後古代の里資料館冬季企画展示「丹後震災90年」（2月4日～4月16日）625人 第45回丹後震災記念展（峰山地域公民館、3月4日～7日）100人 歩いて迎える丹後震災の記憶（3月19日、京都府立峰山高等学校と共催） 15人</p> <p>○平遺跡出土遺物受け取り 美術運送による運搬費、職員旅費 340千円</p> <p>○丹後・東海地方の文化交流調査事業 調査事業謝金（調査者4人、謝礼・費用弁償）、事務経費 124千円</p>				
主 な 財 源	諸収入	京丹後史博士育成講座資料代	17千円		
成 果 ・ 課 題	○文化財セミナー等の講座では、『京丹後市史』の内容を市民により深く理解いただく機会を提供できた。また、市ケーブルテレビの特集番組の放映により市民に広く情報提供することができた。 ○丹後震災90年関連事業では、資料展示とセミナーのほか、京都府立峰山高等学校との共催により、高校生のガイドチームの案内による事業を開催し、多彩な方法で啓発事業が展開できた。				
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／文化財保護課				

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05遺跡整備事業	
細 事 業 名	01 遺跡整備事業			決算書	P.360
綜 合 計 画	計 画 項 目	28 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
	(旧計画項目)	31 芸術・文化を活かしたまちづくりの推進			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額	
17,854千円	18,134千円	280千円	98.4%	19,929千円	
目 的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財の環境整備を推進し、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	<p>国史跡網野銚子山古墳について、平成23年に策定された「網野銚子山古墳整備基本計画」に基づき史跡の保存を図るべく、史跡整備検討委員会を設置し2回開催した。その指導を受け史跡指定地内の一部を発掘調査し、併せて小銚子古墳の精密測量を実施した。また史跡指定地内と周辺の土地確定などの対応を行った。今年度は駐車場用地（5筆）を取得した。</p> <p>○網野銚子山古墳整備事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 史跡整備に関する専門委員の会議報酬 64千円 ・共済費 発掘調査補助員に関する労災保険料 3千円 ・賃金 発掘調査補助員賃金 989千円 ・旅費 整備に関する専門委員及び関係者協議旅費 151千円 ・需用費 調査関連の消耗品、発電機ガソリン代ほか 115千円 発掘調査記録写真現像費 11千円 ・役務費 簡易トイレし尿汲取料 2千円 ・委託料 草刈委託料 713千円 小銚子古墳地形詳細測量委託料 5,187千円 発掘調査作業員人材派遣委託料 2,385千円 ・使用料及び賃借料 関係者協議に関する有料道路通行料 23千円 発掘調査に係る重機、簡易トイレ等借上料 555千円 ・公有財産購入費 駐車場用地取得に係る土地購入費 2,327㎡ 7,656千円 				
主 な 財 源	国補 府負	国宝重要文化財保存整備費補助金（1/2） 遺跡整備事業債（合併特例債）	4,600千円 7,200千円		
成 果 ・ 課 題	○史跡の環境整備を行ったことで後世の削平（墳丘部の人工的な土地改変、掘削）、崩落等で影響を受けている墳丘裾部を復元設計するためのデータを蓄積することができた。 ○整備を行うにあたり、古墳全体の詳細な現況の把握が課題であったが、今回の測量で詳細な現況地形データを得ることができた。				
事 業 所 管 課	教育委員会事務局／文化財保護課				